



京丹後市立久美浜病院広報  
院にゃあねっと

平成23年3月31日発行 通算77号

30周年記念号

定年退官を迎えて

京丹後市立久美浜病院院長 奥田聖介

# 当院の30年間の歩みと

## ～定年退官

当院は昭和56年に開設され今年で30年を迎えます。私は開設2年目の昭和57年から当院に勤務し29年になりますが、30年の内29年を当院で勤務し、当院と共に歩んできたことは大きな喜びであります。この度、この節目の年に当院を定年退官することになり、今までの歩みを振り返った時、誠に感慨無量であります。

政治生命をかけて当院を開設された井尻武久美浜町長から、私の出身地が久美浜町ということもあり、当時は京都市立病院に勤務していましたが、「2年でも3年でもいいので久美浜病院に帰ってきてもらえないだろうか」との要請を受け、2～3年のつもりが29年を迎えています。これには開設者の歴代の町長さんや現在の市長さんをはじめとした行政の方々、議会議員の方々、地域住民の皆様、当院のスタッフの皆様から支えられ助けられて、さらに地域医療のやりがいや素晴らしさに惹かれて、29年を迎えることが出来たものと思っています。

昭和57年の赴任当時は、病床数50床、



京丹後市立久美浜病院院長  
奥田聖介

診療科5科でしたが、現在は病床数170床、診療科14科となり、30年の間に当院の規模は約3倍になり、それと共に医療レベルの向上がもたらされ、赴任時と比べて隔世の感があります。

この30年間にはいろいろな出来事がありました。まず開設者の町長が、井尻武氏、

# 今後のさらなる発展を

## を迎えて～

片山茂氏、吉岡光義氏と代わられたこと、さらに平成16年には6町が合併し京丹後市となり、中山泰京丹後市長が開設者になられ、当院は久美浜町国保久美浜病院から京丹後市立久美浜病院と名称が変わったことが挙げられます。また、病院に隣接して昭和59年に保健センターが、昭和63年に特別養護老人ホーム、デイサービスセンターの施設が建設され、病院を核とした保健、医療、福祉のゾーンが形成されたこと、さらに平成6年、平成12年に病院の増改築がなされて診療科の増設、医療設備の充実が図られたことが挙げられます。

当院は、医療の原点である救急医療に「救急患者は断らない」をモットーに全職員が取り組み、小児から高齢者まで安心して医療が受けられるよう、行き届いた信頼される医療体制づくりに職員一丸となって邁進してまいりました。

また、当院は病院の役割として病気の診断や治療のみを行なうのではなく、その前の疾病予防活動、さらに治療後に介護を要する場合は介護にも病院が支援する地域包括医療・ケアを、当院の使命とし理念としてまいりました。その背景には、地域包括医療・ケアの先進地への視察、毎年開催される全国国保地域医療学会への参加等が刺

激となり指針となって現在に至っています。

この30年間に当院が実践してきた地域包括医療・ケアの成果として、標準化死亡比の低下がもたらされ地域住民の健康度が向上し、それに伴って、医療費は低く、その結果、国保税の低下がもたらされ、地域住民にとって最も好ましい成果が得られています。これは病院だけによってもたらされたものでなく、それぞれの地区の健康づくり推進員さん、さらに保健師さんとの強力な連携によってこのような成果が得られたものと思っています。

疾病予防活動や在宅介護の先進地である長野県は、年齢調整死亡率が日本一低い、高齢者の就業率が日本一高い、老人医療費が日本一低い等々で日本では有名な健康長寿の県ですが、当院が30年間進めてきた地域包括医療・ケアによって、長野県に近づいたのではと思っています。

病院開設30年の節目にあたり、これからも医療レベルの向上、患者サービスの向上に努め、地域包括医療・ケアをさらに推し進めて、当院が地域住民から信頼される病院、地域に貢献できる病院、地域にとってなくてはならない病院として、さらなる発展を期待し望んでいます。

29年間、本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

# 京丹後市立久美浜病院開設30周年に寄せて

久美浜町国保久美浜病院は、昭和56年に開設され、今年で30年という記念すべき節目の年を迎えました。急性期医療から慢性期医療にとどまらず、保健（予防活動）、福祉（介護）にも取り組み、予防から治療、介護・ケアまでを包括的に行う地域医療を実践し地域住民の命と健康を守る役割を担ってきました。



京丹後市長 中山 泰

また、救急については「全て受け入れる」という方針のもと、診療科を越えた協力体制をもって正に患者さん本位の温もりのある医療を提供してまいりました。これも多くの医療関係者のご指導、ご支援と地域住民のご理解、ご協力に加えて、歴代の開設者また岡本前院長、奥田院長をはじめ医師、看護師等の医療スタッフの皆さんなど、30年間にわたって病院にかかわりを持ってこられた皆さまのたゆまぬ努力のたまものと心から敬意と感謝を申し上げます。

平成16年には丹後6町の合併により京丹後市が誕生し、病院名は京丹後市立久美浜病院となり、現在に至っています。京丹後市を取り巻く地域医療の現状としては医師、看護師不足が大きな課題となっていますが、市立久美浜病院と市立弥栄病院が特徴を活かしながら連携を強め、職員が一致団結することで更に市民サービスの向上が図れればと考えています。

100歳以上の人口の占める割合の多い京丹後市では『健康大長寿のまち』として、

市民が心身ともに健康で安心して生活が送れるよう市民病院としての役割を果たし、市民から信頼され、愛される病院となることを使命として、努力していきたいと考えます。今後とも関係者のご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



## 住民の切なる願い

元久美浜町長 片山 茂

久美浜町では合併間もない頃から、町民の皆さんの健康は久美浜診療所では守りき



れない。“合併町にふさわしい病院が必要だ”と、町民の皆さんの切なる要望を基に、井尻武町長と総務課長の松田昭二さん

は、京都府立医科大学の指導を受けながら病院の建設に向けて奔走されました。

昭和57年春、病院の完成とともに、府立医大第二内科出身で京都市立病院に勤務されていた地元出身の奥田聖介さんを院長に迎え、久美浜病院はスタートして30周年を迎えました。

開設30周年、誠におめでとうございます。

## 目に見えない大切なものを

元久美浜町長 吉岡 光義

そうか、あれから30年か…。開設式典における井尻町長の感泣の挨拶を思い出している。もし、当病院無かりせば…。背筋を寒いものが走る。数字と効率、我が者顔でのさばっている。



しかし、行政を<sup>あずか</sup>与る者は不採算と非効率部門を抱え込むだけの度

量と勇気と懐の深さを持って欲しい。

少子高齢化の波は地方を呑みこもうとしている。そんな中で、「安心」という眼には見えないけれども大切な物を次の世代へ、きっちりとバトンを繋いでほしい。

それが、今を生きるものの務めだ。

## 当時の経験が役立ってます

整形外科 四方 秀人

平成4年4月から6年間と平成12年4月から1年間の計7年間、整形外科で勤務していました。勤務当初は、整形外科の<sup>ひょうぼう</sup>標榜はなく、外科2診として働いており、何年か忘れてしまいましたが、在任中にやっと地域のお許しが得られ、整形外科医として勤務できました。



久美浜病院在任中整形外科の分野だけでなく、他科の分野まで幅広く勉強できました。おかげで、現在開業医をやっていますが、当時の様々な経験が非常に役に立っています。

久美浜病院の皆様本当に御世話になり、また育てていただいて感謝しております。

## もう一度働きたい病院

小児科 古川 裕

久美浜病院へは、昭和63年から平成4年まで勤務しました。初代の常勤小児科医として、久美浜病院に恥ずかしくない小児科を作るという夢を持ち、働きました。後任の小児科医の努力が続き、今は立派な小児科が出来上がりとてもうれしいのが本心です。



久美浜病院はとても働きやすい所で、今まで勤務した病院の中でもう一度働くとすれば、迷わず久美浜病院です。奥田院長先生を中心にした病院の人、地元の人、いずれもいい人ばかりでした。久美浜湾、<sup>かいど</sup>兜山、如意寺、小天橋、などの綺麗な景色。カニ、<sup>か</sup>牡蠣、そして勢野うどん。本当に楽しかった4年間です。ありがとうございました。

## 外科医人生の始まりでした

外科 四方 哲

平成8年から平成11年3月まで久美浜病院に勤務させていただいたが、赴任直前に結婚し内海に面した土居の官舎で新婚生活が始まりました。平成10年6月に豊岡病院で長男が誕生したがこの日は医師5年目にして初めて胃切除を執刀させてもらえる日でもあった。「それでは哲先生の記念すべきマーゲン1例目をお願いします。御長男誕生おめでとう!!」という赤木先生の言葉、至福の喜びに包まれたこの瞬間を忘れることはない。この日は長男の人生の始まりであると同時に私の外科医の始まりとなった。



長男は今春、中学生になる。

久美浜病院、ありがとう。

# 京丹後市立久美浜病院開設30周年に寄せて

## 良い医療の実践の継続を

歯科 眞下 肇

「患者さんのために先生が最善と思う医療をしてください」16年前に私が久美浜病院に赴任した時に奥田院長から言われた言葉である。地域医療の発展をめざす久美浜病院職員のひとりとして在職中はこの事を常に考えながら診療にあたってきたつもりであり、病院を辞した今後もうしたいと思っている。



しかし、医療費削減、採算性の重視、患者の権利など医療をとりまく環境は年々この言葉を実践していくのが困難な方向に向かっているようである。今後も久美浜病院がこのような環境の変化に流されることなく「良い医療」を実践し続ける医療機関として発展していくことを願っている。

## 当時を振り返って

元総看護師長 井通 純子

覚えておられますか、あの頃のこと。春爛漫に、うら庭の大きな桜の木が満開になったこと。

外来も診察室も狭くて、人がひしめきあっていたことを。

個人的には、病院拡張工事のたびに婦長室が変わったことと、看護師確保に明け暮れたことなどが懐かしいです。

時代の流れを先読みできない私に、いつも広い視野で助言して下さった院長先生にあらためて感謝します。

現在はこの久美浜病院に健康管理をゆだねて、外来利用をしています。



- 笑顔と心のこもった良心的な医療
- 地域に密着した温もりのある確かな医療
- 保健・医療・福祉を一体化した包括医療



開設4年目の職員集合写真（昭和60年3月撮影）

## 沿 革

昭和30年	4月	国民健康保険直営海部診療所開設	
	12月	国民健康保険直営久美浜診療所開設	
33年	5月	国民健康保険直営佐濃診療所開設 (佐濃村、久美浜町に編入合併)	
36年	6月	医療法人久美浜病院開設 一般病棟20床	
36年	6月	国民健康保険直営久美浜診療所廃止	
36年	7月	国民健康保険久美浜診療所開設 病床10床	
38年	5月	医療法人久美浜病院 久美浜町に移管	
40年	3月	医療法人久美浜病院廃止	
43年	11月	国民健康保険久美浜診療所増築増床9床 (19床に)	
56年	3月	国民健康保険直営海部診療所廃止	
	4月	国民健康保険直営久美浜診療所廃止	
	4月	久美浜町国民健康保険久美浜病院開設 一般病床50床 診療科目：内科、外科、小児科、皮膚科、歯科 (5科目)	
平成	6年	3月	新館完成 (1号館) 増床60床 (110床に) 鉄筋コンクリート造3階建 3,865.22㎡
		4月	眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科を新設 (8科目に)
平成	8年	9月	診療科目：歯科口腔外科、リハビリテーション科を新設 (10科目に)
平成	9年	6月	診療科目：整形外科を新設 (11科目に)
平成12年	3月	療養型病床群完成 (療養病棟やすらぎ) 療養病床60床	
	7月	泌尿器科常設	
平成15年	11月	診療科目：心療内科、精神科を新設 (13科目に)	
平成16年	3月	久美浜町国民健康保険久美浜病院廃止 (丹後6町合併により)	
	4月	京丹後市立久美浜病院開設 (丹後6町の合併により)	
平成19年	1月	通所リハビリテーション事業所開設	
平成21年	4月	診療科目：麻酔科を新設 (14科目に)	

## 編集後記

この度「院にゃあねっと久美浜病院開設30周年記念号」を発行することとなり、広報委員の一人として微力ながら関わらせていただきました。昭和56年4月に久美浜病院が開設され、30年。

その頃、久美浜町で生れた私は、ほぼ同じ年月を過ごしてきました。子供の頃はよく風邪をひき小児科へ、

虫歯ができたときは泣きながら歯科へ、40℃発熱したときは夜中に救急外来へかかったことを思い出します。

そんな私が現在は久美浜病院の職員として勤務しています。勤務年数が長くなるにつれ知った顔も増え、患者さんに声を掛けていただく機会も増えました。今後もいろんなことを患者さんや他の職種の方から教わり学びながら、がんばっていかうと思います。

## 京丹後市立久美浜病院 外来医師担当表

(平成23年4月1日～)

診察科		曜日	月	火	水	木	金
内科 1 診	午前	奥田 聖 介	瀬尾 泰 正	山 本 康	田 儀 英 昭	瀬尾 泰 正	
	午後	奥田 (予約診)	瀬尾 (予約診)	山本 (予約診)	田儀 (予約診)	瀬尾 (予約診)	
内科 2 診	午前	山 本 康	坂 根 慶 弥	横 井 大 祐	坂 根 慶 弥	横 井 大 祐	
	午後	山本 (予約診)	坂根 (予約診)	横井 (予約診)	坂根 (予約診)	横井 (予約診)	
内科 3 診	午前	田 儀 英 昭					
	午後	田儀 (予約診)					
外 科	午前	中 島 慎 吾 赤木 (予約診)	赤 木 重 典 (受付時間 10 時まで)	吉 山 敦	赤 木 重 典	中 島 慎 吾 吉山 (予約診)	
	午後			たこ・うおのめ・いぼ外来 (第2・第4) 赤木重典			
整形外科	午前	吉 岡 直 樹	吉 岡 直 樹	吉岡 (予約診)	西 田 敦 士	与謝の海病院医師 (第1・2・3週のみ)	
	午後	吉岡 (予約診)	吉岡 (予約診)	手 術 日			
小 児 科	午前	岩 見 均	岩見 (予約診) 慢性疾患専門外来	岩 見 均	予防接種外来 (予約診)	岩 見 均	
	午後	岩見 (予約診)	杉 本 洋 平	岩見 (予約診)	杉 本 洋 平	岩見 (予約診)	
泌尿器科	午前	浦 野 俊 一		浦 野 俊 一	浦 野 俊 一	浦 野 俊 一	
歯科口腔外科	午前	堀信介(第1・3・5) 足立圭司(第2・4) 山田元太郎 三木真優 長嶋真貴子(第1・2・3・5)	足 立 圭 司 山 田 元 太 郎 丸 尾 将 太 郎 三 木 真 優 子 長 嶋 真 貴 子	堀 足 立 信 介 圭 司 介 司 太 優 足 立 圭 司 太 優 山田元太郎(第1・3・5) 三木真優(第2・4) 長嶋真貴子	堀 信 介 介 司 太 優 足 立 圭 司 太 優 山田元太郎(第1・3・5) 三木真優(第2・4) 長嶋真貴子	堀 信 介 介 司 太 優 足 立 圭 司 太 優 山 田 元 太 郎 太 丸 尾 将 太 郎	
	午後 (予約診)	堀信介(第1・3・5) 足立圭司(第2・4) 山田元太郎 三木真優 長嶋真貴子(第2)	足 立 圭 司 山 田 元 太 郎 丸 尾 将 太 郎 三 木 真 優 子 長 嶋 真 貴 子	外 来 手 術 日	手 術 日	手 術 日	
眼 科	午前	南丹病院医師	府立与謝の海病院医師			府立医大医師	
皮 膚 科	午後					府立医大医師	
耳鼻咽喉科	午後	府立医大医師				府立医大医師	
佐濃診療所	午後				山 本 康		

【 受付時間 】

- 午前診察 午前7時30分～午前11時
- 午後診察 正午～午後2時
- 歯科・歯科口腔外科初診 午前7時30分～午前11時

【 小児科電話受付時間 】 (TEL 0772-82-8200)

- 午前診察 午前9時～午前11時
- 午後診察 午後1時～午後2時 (火・木曜日のみ)

- ★ 外科の火曜日の受付は午前10時までとなります。
  - ★ 整形外科の水曜日の診察は予約診となっており、医師の指示のある方が対象です。
  - ★ 小児科の火曜・木曜の午前診は予約診となっており、医師の指示のある方が対象です。
- 【京丹後市立久美浜病院 TEL0772-82-1500 (代)】

発行／京丹後市立久美浜病院 編集／広報委員会

ホームページ <http://www.city.kyotango.kyoto.jp/shisei/kan/hospital/kumihama/index.html> から閲覧できます。